

久留米広域市町村圏事務組合告示第2号

令和2年第1回久留米広域市町村圏事務組合議会定例会において、下記の予算が議決されたので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条の規定により準用する同法第219条第2項の規定により、当該予算の要領を公表する。

令和2年2月27日

久留米広域市町村圏事務組合長 大久保 勉

記

1 予算

- (1) 令和元年度久留米広域市町村圏事務組合
広域消防特別会計補正予算（第1号）
- (2) 令和2年度久留米広域市町村圏事務組合
一般会計予算
- (3) 令和2年度久留米広域市町村圏事務組合
ふるさと振興事業特別会計予算
- (4) 令和2年度久留米広域市町村圏事務組合
小児救急医療支援事業特別会計予算
- (5) 令和2年度久留米広域市町村圏事務組合
広域消防特別会計予算

2 議決年月日

令和2年2月25日（火）

令和２年度久留米広域市町村圏事務組合 各会計当初予算の要領

１ 一般会計

当会計は、組合議会及び総務事務にかかる会計である。

令和２年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比 1.1%増の 35,787 千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、構成市町負担金及び前年度繰越金である。

款	項	金 額 (千円)
1分担金及び負担金		32,880
	1負担金	32,880
2使用料及び手数料		1
	1使用料及び手数料	1
3繰越金		2,900
	1繰越金	2,900
4諸収入		6
	1組合預金利子	1
	2雑入	5
歳 入 合 計		35,787

(2) 歳出

歳出の主なものは、議員報酬、役員給料、議案書等の印刷製本費、附属機関の委員報酬及び事務局派遣職員に係る人件費負担金などの経常的経費である。

款	項	金 額 (千円)
1議会費		1,890
	1議会費	1,890
2総務費		31,790
	1総務管理費	31,430
	2文書広報費	144
	3公平委員会費	25
	4監査委員費	191
3予備費		2,107
	1予備費	2,107
歳 出 合 計		35,787

2 ふるさと振興事業特別会計

当会計は、組合の基本理念である「明日の豊かさと安らぎを育む筑後川交流圏の創造」を推進するため、観光PR事業をはじめとする「ふるさと振興事業」を展開するための会計である。

令和2年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比7.9%減の16,187千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、ふるさと振興基金の運用収入、前年度繰越金及び結婚サポート事業のイベント参加料である。

款	項	金 額 (千円)
1財産収入		11,001
	1財産運用収入	11,000
	2財産売却収入	1
2繰入金		1,700
	1基金繰入金	1,700
3繰越金		3,000
	1繰越金	3,000
4諸収入		486
	1ふるさと預金利子	1
	2雑入	485
歳 入 合 計		16,187

(2) 歳出

歳出の主なものは、圏域内のイベント情報を提供するラジオ放送「ちくご路かわら版」事業に係る広告料、インターネット情報提供事業や観光PR事業、広域行政課題調査研究支援事業での費用弁償及び結婚サポート事業の実施に係る業務委託料である。

款	項	金 額 (千円)
1事業費		16,121
	1事業費	16,121
2予備費		66
	1予備費	66
歳 出 合 計		16,187

3 小児救急医療支援事業特別会計

当会計は、次代を担う子ども達を、当圏域内で安心して生み育てることができる環境づくりの一環として、夜間の小児救急医療受診者の待ち時間短縮を目的に、聖マリア病院内に設置した「久留米広域小児救急センター」を運営するための会計である。

令和2年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比 0.3%減の 35,209 千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、構成市町負担金、近隣市町協力金、福岡県からの補助金、ふるさと振興事業特別会計からの繰入金及び前年度繰越金である。

款	項	金 額 (千円)
1分担金及び負担金		17,289
	1負担金	17,289
2県支出金		6,402
	1県補助金	6,402
3繰入金		9,816
	1繰入金	9,816
4繰越金		1,700
	1繰越金	1,700
5諸収入		2
	1組合預金利子	1
	2雑入	1
歳 入 合 計		35,209

(2) 歳出

歳出の主なものは、久留米広域小児救急センターの運営経費に対する久留米医師会及び聖マリア病院への補助金並びに小児科医研修事業に対する久留米大学への補助金である。

款	項	金 額 (千円)
1小児救急運営費		33,709
	1小児救急運営費	33,709
2予備費		1,500
	1予備費	1,500
歳 出 合 計		35,209

4 広域消防特別会計

当会計は、「管内住民のやすらぎを育む安全で安心な地域社会の確立」を基本理念に、広域消防行政を運営するための経費を計上するものである。

令和2年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比 23.8%増の 6,481,000 千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、構成市町からの負担金、久留米広域消防財政調整基金からの繰入金、前年度繰越金及び組合債である。

款	項	金 額 (千円)
1分担金及び負担金		5,194,526
	1負担金	5,194,526
2使用料及び手数料		3,850
	1使用料	820
	2手数料	3,030
3国庫支出金		1
	1国庫補助金	1
4県支出金		1
	1県補助金	1
5財産収入		741
	1財産売払収入	731
	2財産運用収入	10
6繰入金		108,008
	1基金繰入金	108,008
7繰越金		230,451
	1繰越金	230,451
8諸収入		27,922
	1組合預金利子	1
	2雑入	27,921
9組合債		915,500
	1組合債	915,500
歳 入 合 計		6,481,000

(2) 歳出

歳出の主なものは、消防職員の人件費、消防施設整備事業費及び消防車両整備事業費である。

款	項	金 額 (千円)
1消防費		5,981,388
	1消防費	5,981,388
2公債費		349,161
	1公債費	349,161
3予備費		150,451
	1予備費	150,451
歳 出 合 計		6,481,000